



今年十月、全国育樹祭が開催された揖斐川町を紹介します。揖斐川町は岐阜県の南西部にあり、北は福井県・西は滋賀県と接しています。

多目的ダムとしては日本最大の徳山ダムがあることで知名度が高く、この地域を含め豪雪地帯として知られています。反面、夏は暑く、酷暑と豪雪の両面を持ち合わせた地域です。

平成十七年に揖斐川町・谷汲村・久瀬村・春日村・坂内村・藤橋村が合併し現在の揖斐川町が誕生しました。

全国育樹祭の会場となった谷汲地域を紹介します。

### ◆谷汲緑地公園

十月十一日、皇太子さまをお迎えし盛大に開催された全国育樹祭式典会場となった谷汲緑地公園は、華やかな式典が終了した現在はリニューアル中となっています。

皇太子さまが着席された「御席」や県産スギ製の「川湊灯台」、「森湊灯台」についてはそのまま活用され再び市民の憩



全国育樹祭会場となった谷汲緑地公園  
(中央の「御席」は残される予定)

いの場となる予定です。

### ◆谷汲小学校

公共建築物等木材利用促進法が成立する以前から公共建築物の木造化に取り組んでいる同町は、平成十七年度から十八年度にかけ谷汲小学校校舎を新築しました。

延べ床面積約五、三〇〇平方メートルの校舎は約一、〇〇〇立方メートルの木材を使用、う



谷汲小学校のランチルーム



谷汲小学校のアリーナ

ち四二割は県産材を使用しています。

随所に木材の良さが伝わってきますが、特に吹き抜けのランチルームやアリーナ・音楽室はそれが十分伝わってきます。

全国育樹祭では来賓の方々の休憩所として利用されました。

### ◆谷汲踊り

育樹祭の式典でも披露された「谷汲踊り」は、岐阜県の重要無形文化財第一号に指定されており、毎年二月と四月及び十一月に奉納されます。

長さ四メートルの竹を半分に割り二本から三〇本を扇の骨のようにまとめ、これを色和紙で飾り鳳凰に見立てた「しない」という飾りを背負い、大太鼓を抱えて踊る姿が有名です。

前述の谷汲小学校の児童も地域の伝統を後生に残すべく十数年前からこの踊りを学んでいます。

◆谷汲山華厳寺と両界山横蔵寺  
育樹祭会場の東にある「谷汲山華厳寺」は天台宗の寺院で西国三十三所三十三番札所、三十三所の札所としては唯一近畿地方以外にあり、満願結願の寺院となっています。



横蔵寺仁王門 (檜皮葺)

また、会場の西には、同じく天台宗の「両界山横蔵寺」があります。国指定の重要文化財をはじめ、檜皮葺の仁王門や本堂、三重の塔は岐阜県の重要文化財にも指定されています。このように多数の文化財を有していることから「美濃の正倉院」とも呼ばれています。

いずれも、紅葉の名所でもありこの時期には特に多くの参拝者が訪れます。

### ◆アクセス方法

東海環状道大垣西ICから北へ、揖斐川町谷汲振興事務所まで、約四〇分